

酵母由来のネイティブグルタミン酸脱水素酵素 (NADP+)

Cat. No. NATE-1037

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 グルタミン酸脱水素酵素 (GLDH) は、ほとんどの微生物および真核生物のミトコンドリアに存在する酵素であり、尿素合成に必要な他のいくつかの酵素と同様です。この酵素は、グルタミン酸を α -ケトグルタル酸に還元し、その逆も行います。動物では、生成されたアンモニアは通常、尿素回路の基質として使用されます。一般的に、 α -ケトグルタル酸からグルタミン酸への反応は哺乳類では発生せず、グルタミン酸脱水素酵素の平衡はアンモニアと α -ケトグルタル酸の生成を優先します。

別名 グルタミン酸脱水素酵素 (NADP+); グルタミン酸脱水素酵素; 脱水素酵素; グルタミン酸 (ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド (リン酸)); グルタミン酸脱水素酵素; L-グルタミン酸脱水素酵素; L-グルタミン酸脱水素酵素; NAD(P)-グルタミン酸脱水素酵素; NAD(P)H依存性グルタミン酸脱水素酵素; グルタミン酸脱水素酵素 (NADP); EC 1.4.1.4; GLDH

製品情報

由来	酵母
形態	凍結乾燥粉末
EC番号	EC 1.4.1.4
CAS登録番号	2604121
活性	> 10 U/mg タンパク質
混入物	(GIDH活性 = 100%) グルコース-6-リン酸脱水素酵素 < 0.1 % ホスホグルコン酸脱水素酵素 < 0.5 % グルタミン酸脱水素酵素 (NAD+) < 0.1 % グルタチオン還元酵素 < 0.1 % NADPHオキシダーゼ < 0.01 %

保管・発送情報

保存方法 -20°C以下